

北浦和針ヶ谷地区自治会連合会研修会（平成 27 年度）

平成 27 年 11 月 21 日 10 時～ 12 時

北浦和 51 丁^H自治会館

出席：13 町会 浦和コーポテス 齊藤、北浦和東部自治会 古同、北浦和 3 丁目 堀内、
北浦和 4 丁目 田崎、北浦和 5 丁目 志水、針ヶ谷 1 丁目 棗野、
針ヶ谷 1 丁目 天神全 宇山、針ヶ谷 2 丁目 守屋、針ヶ谷 3 丁目 二宮、
針ヶ谷 4 丁目 坂井、コープ野村 山田、北浦和住宅 鈴木

司会：針ヶ谷 1 丁目自治会長 秦野博視

挨拶：北浦和 5 丁目自治協力会会長 志水正

今回の研修会では特にテーマを設けないら 良いところは継就し、悪いところは出来る範囲で改善していこう！

報告事項：南 和高層住宅自治会の会費未納

研究会における各自治会よりの意見を下記に記載します。

記

自治会の必要性。

近隣関係の良い住民は必要'陸'を認めている。

- ・必要インアラのフォローについて、ゴミ、街灯のフォローを自治会が行っていることを知らされていない（自治会不要の認識者は行政が行う事項との認識）。
- ・自治会がコミュニティー課に要望する事で、行政は動いている。

連合会から行政への要望は実行された事がない、権限もなく不要の組織と思われる。

- ・連合会が存続するので行政は補助金を出していると言われるが、補助金は申請 及び避金共に各自治会単位である。
- ・さいたま市と浦和区自治会連合会の 住み分けを明確にし、必響性の向上を依頼。
- ・行政は各自治会が活動しやすい環境整備を毎年具体的に提示し、自治会と行政 の住み分けを明確に示 して欲しい。
- ・行政の実施する研修会に出席しよう！

マンション管理組合と自治会の関係

- ・自治会加入は個々の加入を前提とし、マンションは分離されている。
- ・地域でマンションが増加しているが、自治会は対応に苦慮している。
- ・マ ンションにはゴミ処理能力がある。
- ・新規分議マンションの住民は年齢層も若く、地域との結び付きは希薄であり、自治会活

動への認識が希薄と思われる。マンションはオートロックで入れない。

各種分担金の処理問題

- ・学校関係はともかく、使用が明確でない団体への分担金の納付を再考している。

その他

自治会役員の高齢化による世代交代の認識の中、自治会長の後継者問題が潜在する。

急速に高齢化する地域社会への対応にはコミュニケーションが第一に必要。

地域の居住者と営業する世帯間でコミュニケーションが取れない。

自治会の仕事と思われない事柄を行政は自治会に依頼してくる。

仕事を持つ現役の人にも1年間自治会活動ができる環境整備を行政にて検討依頼。

平成27年度北浦和針ヶ谷地区連合会研究集会まとめ

1 自治会の必要性

- ・朝日新聞アンケート調査～
- ・当連合会では全会長必要性を認めている。

2 連合会への必要性

- ・自治会とコミュニィ課ほか、行政にお願いすることでクリアー出来るのであれば連合会の必要があるのか?権力又は意見を反映できる組織を希望する、そのためにも自治会加入のへの条例化を希望する。

3 その他のまとめ

役員の高齢化 自治会長の後継者の問題 自治会運営に係る各町会

規模も事情も違いますが、会長同士親睦を図りながら関係とり

北浦和針ヶ谷地区の結東を析念して研究集会を終了し、懇親昼食会

を行い閉会とした。

以上